

負債と贈与

をめぐる文化人類学者と思想家の対話

小川さやか×岩野卓司

借りたら返す——それは社会を生きるための当たり前のルールに思える。だが、すべての借りが清算され、すべての関係が貸し借りの帳尻で測られるとき、わたしとあなたのあいだには何が残るのか。本イベントでは、『返さない借りつながる贈与——資本主義を克服する、新しい共同性』を刊行した現代思想家・岩野卓司と、アフリカの商いやインフォーマルセクターを研究する文化人類学者・小川さやかが負債と贈与について語り合い、思想と人類学の交点から、資本主義の先にある共同性を考える。



2026年10月2日（金）

17:10–19:30

明治大学 和泉キャンパス 図書館ホール

対面・オンライン（Zoom）併用／無料／要事前登録

登壇者略歴

小川 さやか

おがわ・さやか

立命館大学大学院先端総合学術研究科教授。専門は文化人類学、アフリカ研究。著書に『「その日暮らし」の人類学——もう一つの資本主義経済』（光文社）、『チョンキンマンションのボスは知っている——アングラ経済の人類学』（春秋社、第8回河合隼雄学芸賞・第51回大宅壮一ノンフィクション賞受賞作）など。

コーディネーター・司会：佐久間 寛

教養デザイン研究科・政治経済学部准教授

プログラム

17:10 開会の辞 佐久間 寛
17:20 著書紹介 岩野 卓司
17:30 対談 岩野 卓司、小川 さやか
18:20 休息
18:40 質疑応答
19:20 閉会の辞 箕曲 在弘

岩野 卓司

いわの・たくじ

明治大学大学院教養デザイン研究科・法学部教授。専門は哲学・思想史。著書に『ジョルジュ・バタイユ——神秘経験をめぐる思想の限界と新たな可能性』（水声社）、『贈与論——資本主義を突き抜けるための哲学』（青土社）、『返さない借りつながる贈与——資本主義を克服する、新しい共同性』（朝日新聞出版）など。

事前申込

対面・オンライン参加
ともに事前登録を
お願いします

共通のZoom登録ページ

<https://x.gd/U0jTk>



主催：明治大学大学院教養デザイン研究科

共催：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 共同利用・共同研究課題

「負債の動態に関する比較民族誌的研究（3）——富の蓄積をめぐるポリティクス」

問い合わせ：佐久間 寛研究室（garokoyre@meiji.ac.jp）